

# 消防の仕事

おそろしい火事は、いつ、どこで起きるかわかりません。火事を防ぐために、北九州市ではどのような仕事をしているのでしょうか。

## もくじ

1 北九州市の火事のとうけい	1
2 消防自動車が出動するまでの仕組み	2~3
3 火事の現場での活動	4~5
4 消防署見学	6~7
5 消防士さんの1日	8~9
6 わたしたちのまちの消防団	10~11
7 消防しせつのあるところ	12~13
8 学校の消防設備	14~15
9 まちの消防のくふう	16~17
10 火事からくらしを守るために取り組み	18~19
11 火事を見つけたら	20~21
12 救急の仕事	22~23
13 地震・台風・大雨のときの活動	24~25
14 地域の防災活動	26~27
15まとめ	28~29
資料1 消防自動車のいろいろ	30~31
資料2 消防隊による救急活動「あかきゅう」	32
資料3 あんしん通報システムの仕組み	32
資料4 「スクール救命士」の取り組み	32
資料5 「消防士さんといっしょ」の取り組み	33
資料6 学習が生かされた事例の紹介	33

令和7年度 全国統一防火標語

いそ 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

先生方へ

この本は、小学校3年の学習で「北九州市の消防の仕事」をわかりやすく指導していただくために作成したものです。編集にあたっては、小学校児童を対象に編集しましたが、指導のための参考資料も脚注に掲載しましたので、ご活用ください。なお、「13 地震・台風・大雨のときの活動」「14 地域の防災活動」は、主に小学校4年の「自然災害にそなえるまちづくり」で取り扱う内容です。必要に応じてご活用ください。

# 1

## 北九州市の火事のとうけい

※とうけいとは、何かの「集まり」全体の特ちようなどを表す数(テストの平均点やクラスのボール投げの記録など)

北九州市では、令和6年中(1月~12月)にどのくらいの火事があったのかな?

令和6年中(1月~12月)

1年間に、220けんの火事が起きました。火事でなくなった人は17人、けがをした人は33人でした。また、なくなった人の約7割が65歳以上の高齢者でした。

火事の主な原因とけん数



火事のけん数



令和6年中(1月~12月)のそんがいがく\*

やく おく ぜん まん  
約8億3千万円

\*そんがいがくとは、火事による被害を金額で表したもの

# 2

## 消防自動車が出動するまでの仕組み

お  
火事が起きたときに、どのような仕組みで出動するのかな?

119番

消防指令センター

出動指令



電話のほかに  
NET119  
FAX119

ことばや耳が  
不自由な人が、  
スマートフォンや  
ファクスを使っ  
て、火事や救急な  
どの通報をする  
ことができます。



### あんしん通報システム

火災センサーが煙を感じたり、緊急ボタンを押したりすることにより、火事や救急などをコールセンターに知らせるシステムです。



- 北九州市内の119番通報はすべてここにつながります。
- 火事が起きた場所の近くにいる消防自動車をコンピュータでさがします。

消防指令センター

でんわ  
電話を受けながら  
パソコンを操作して  
出動指令を出します。  
※消防指令センターは北九州市  
消防局にあります。

消防指令センターの様子



出動指令



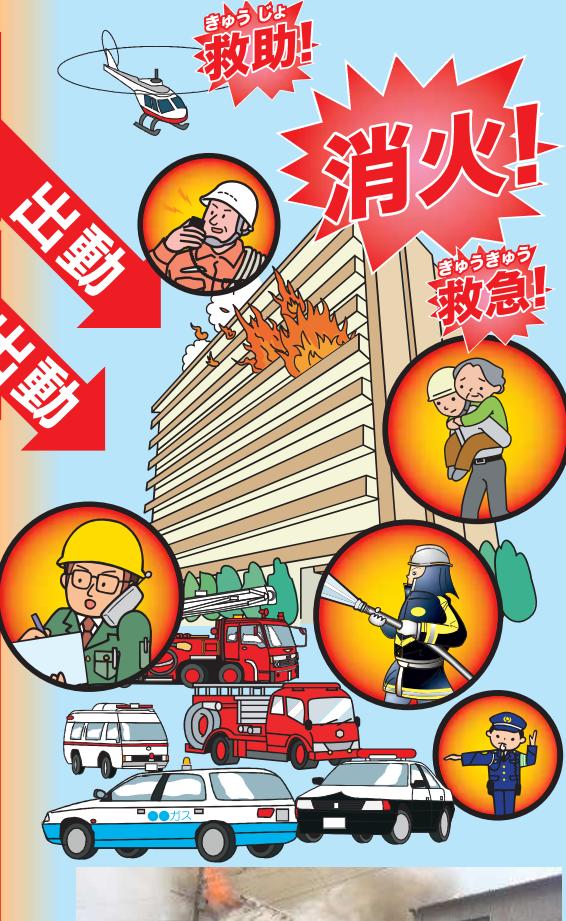
- 出動場所を確認し、防火服に着替え  
て出動します。(約1~2分で出動し  
ます。)

かんけいき かんきょうりょく  
関係機関との協力

※機関とは、同じ取り組みをする集まり



関係機関の人は  
どんな仕事をするのかな?



消防車の出動場所が知りたい時の電話番号  
**093-582-1234**

「もらって安心災害情報配信サービス」  
QRコードを読み取って、空メールを送信すると登録できます。



先生方へ

- 119番には、火事と救急・救助がありますが、ここでは、火事の通報から消火活動までの一連の組織活動を理解させてください。
- 消防団とは、一般市民により、構成されている消防機関です。P.10~11で詳しく説明しています。
- あんしん通報システムについては、P.32の資料3で詳しく説明しています。

# 3

## じ げん ば 火事の現場での活動

火事の現場では、どんな人たちが、どのような活動をしているのかな?



### 消防士・消防団員

協力して、消火活動をしたり、にげおくれた人を安全に助け出したりします。



### 警察官

人や車が火事現場に入らないようにします。

火事にあった人たちの食事やとまるところのお世話をします。

区役所の人

自衛消防隊

その建物で働く人が、自分たちで火事による被害を小さくするためにつぶやき連報や初期消火、避難誘導などの活動をします。

火事の大きさに合わせた出動の計画			
第一出動 9台	第二出動 13台	第三出動 16台	第四出動 19台
たてもの 建物の火事 (一般的な火事)  ※赤い車は、新たに 加わる消防車。	指揮車 2台 タンク車又はポンプ車5台 救助工作車 1台 救急車 1台  	指揮車 1台 タンク車又はポンプ車1台 はしご車 1台 救助工作車 1台  	タンク車又はポンプ車2台 はしご車 1台  

※ 気象条件などにより出動する隊がいることがあります。  
どのようないかだ車が出動しているのかP30・31で  
確認してみましょう。



火の用心



消火栓から消防自動車に水を送ります。P7で確認しましょう。

### ガス会社の人

ガスがもれると危険なので  
ガスの元栓を止めます。



火の用心

消防署の人たちをはじめ、消防団、区役所、警察署、ガス会社、電力会社、自衛消防隊の人たちが、おたがいに協力しているね。

火を消すだけでなく、にげおくれた人を助け出すのも消防の大切な仕事なんだね。



### 電力会社の人

感電しないように  
電気を止めます。



# 4

## 消防署見学

ようす  
消防署の様子や消防自動車はどのようになっているのかな?

消防署の様子 — 消防署の中は、どのようにになっているのだろう。 —



消防自動車のひみつ — 消防自動車には、どんなものが積まれているのかな。 —

